

市町村名		恩納村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
	担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度 平成24年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	外来種の台湾ハブや台湾スジオが、観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)周辺で散策者への咬傷被害が予測されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	5,865	5,858	5,820	5,930	5,822
	(b) 予算現額	5,662	5,683	5,575	5,799	5,413	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 203	▲ 175	▲ 245	▲ 131	▲ 409	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	5,662	5,683	5,575	5,799	5,413	
	B. 執行済額	5,617	5,385	5,280	5,385	5,413	
	うち交付金充当額	4,494	4,308	4,224	4,308	4,330	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.2%	94.8%	94.7%	92.9%	100.0%	
予算の状況の説明	279千円のハブ収入売上(交付対象外経費)等により、予算現額と執行済額の差額が451千円あるものの、当初計画していた事業内容は全て実施しており、活動目標の達成状況を鑑みて適正だったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数	目標	(400箇所)	(400箇所)	(400箇所)	(400箇所)	
		実績	450箇所	450箇所	450箇所	450箇所	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・台湾ハブや台湾スジオが多く生息する村内南部の地域に、設置予定基数の400基を超える捕獲器を設置し捕獲を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	捕獲器設置周辺における咬傷被害件数	目標	()	()	(0件)	(0件)	()
		実績			0件	0件	
	ハブ捕獲数	目標	()	(150匹)	()	()	()
実績			193匹				
進捗状況説明	捕獲器設置周辺における咬傷被害件数は0件であり目標を達成することができた。また、令和元年度の台湾ハブの捕獲数は223匹となっている。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・タイワンハブの生息地域の見極めのため、生息が懸念される地域へ捕獲器の設置を行ったが、タイワンハブは捕獲されなかった。 ・現在の体制での捕獲器の設置数は450基が限界である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに捕獲器の設置を行ったエリアでのタイワンハブの捕獲はなかったが、隣接する他の場所でも生息が懸念されるため、引き続き捕獲器の設置エリアの検討を行っていく必要がある。 ・捕獲器の設置台数を増やすためには、マウスの長期生存率をあげることで捕獲器の巡回の間隔を伸ばす必要がある。

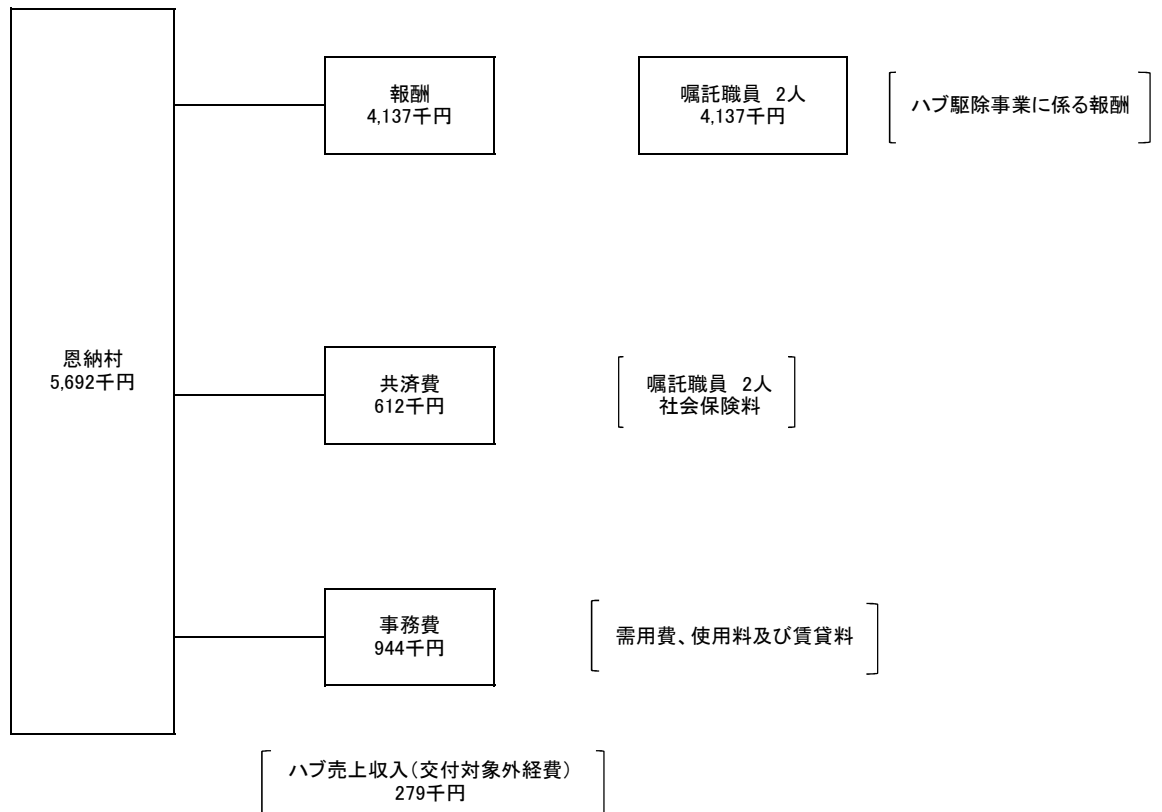
今後の取り組み方針

・タイワンハブ等の生息域の拡大が懸念される別の地域への捕獲器設置を行い、生息地域の把握に努める。

・マウスの飼料の与え方を工夫することで、長期生存率を向上させることができないか検証を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,692	5,413	4,330	1,083	279



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○嘱託職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部課名	工商観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客を図るため、プロモーション活動やイベントを行うとともに、観光客の利便性を確保するため、文化情報センターへ観光案内人の配置を行う。またプロモーション動画(多言語)を作成し、観光誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,418	15,989	52,090	57,198	33,220
		(b) 予算現額	11,657	12,184	52,090	31,524	31,646
		(c) 増減額(b-a)	239	▲ 3,805	0	▲ 25,674	▲ 1,574
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		11,657	12,184	52,090	31,524	31,646
	B. 執行済額		11,449	12,181	49,679	30,764	31,646
	うち交付金充当額		9,160	9,743	39,743	24,611	25,316
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		98.2%	100.0%	95.4%	97.6%	100.0%
予算の状況の説明		事業実施後の精算において交付対象事業費が△1,574千円となったが、予定していた事業はすべて実施することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	観光誘客プロモーションの実施	目標	()	(2回実施)	(1回実施)	(2回実施)	
		実績		2回実施	1回実施	2回実施	
	イベントの開催	目標	(花火大会の開催)	(2回実施)	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	
		実績	花火大会の開催	2回実施	花火大会の開催	花火大会の開催	
	観光案内人の配置	目標	(案内スタッフ配置の支援)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	案内スタッフ配置の支援の実施	実施	実施	実施	
	観光誘客コンテンツの開発	目標	()	()	()	(プロモーション動画の開発)	
		実績				プロモーション動画の開発	
情報媒体の整備・作成	目標	()	(6万部作成)	()	()		
	実績		7万部作成実施				
村民のおもてなしの心の啓蒙	目標	()	()	(冊子の作成・配布)	()		
	実績			冊子の作成・配布			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘客プロモーションは、東京池袋サンシャインシティで行い、村内からは8社が出展した。特設コーナーにて恩納村観光PR、パンフレットの配布やアンケート調査を実施。また恩納村青年団によるエイサー演舞や会場にてFMラジオに出演するなど、恩納村の観光物産をPRした。また香港では「ダイビング・リゾート・トラベル・フェア香港2019」に出展し、観光誘客重点市場である香港でプロモーションを実施した。 イベントの開催は5回目となる美ら海花火大会を予定どおり実施した。 観光案内人の配置恩納村文化情報センターの観光情報フロアに2人配置した。 誘客コンテンツの開発については、恩納村観光プロモーション動画(多言語)を作成した。 						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1 成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)
			イベント観覧者数 (H29年度はイベントの開催)	目標	()	(2回)	(15,000人)
	実績			2回	10,000人	12,400人	
	村内主要ホテルへの年間宿泊者数	目標	()	(256万人)	(276万人)	(302万人)	()
	実績			286万人	284万人	262万人	
	観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
	実績				88%	85%	
	プロモーション活動の実施	目標	()	(2回)	()	()	()
	実績			2回			
	情報媒体の整備・作成	目標	()	(60,000部)	()	()	()
	実績			70,000部			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・おんな村観光物産展では、村製品の周知や本村の認知度向上を図ることができた。恩納村全体売上げは対前年度比178.2%と過去最高となった。 ・香港プロモーションではマリッジの紹介やサゴの保全・育成活動をPRL観光地としての魅力を周知できた。 ・美ら海花火大会は予定どおり開催することができたが観覧者数が目標を下回った。 ・観光案内所での観光情報の提供及び案内人の対応について利用者アンケートについて目標の満足度を達成できた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・恩納村観光物産展でのアンケート(504件回収)で「恩納村へ行ったことがある245人」(60%)に対して「恩納村に泊まったことがある」156人(38%)と差異の22%は立ち寄り観光の傾向となっていると考えられる。 ・香港プロモーションでは来場者数30,793人で「ダイビング」をはじめ「サゴ保全・育成」の取り組みや観光地としての魅力をプロモーションができた。 ・美ら海花火大会は観覧者数12,400人でライブステージやエアーを披露するなか、3,538発を打ち上げた。SNSコメントからも好評であったことがうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・恩納村観光物産展でのアンケート調査の結果により着地型観光の強化を図る。 ・香港プロモーションでのアンケート調査により沖縄の海が世界有数の「ダイビングスポット」であるという認知は高かったが、うち恩納村での「ダイビング」経験者は全体の2割程度であったため今後も「ダイビング」スポットプロモーション等誘致活動を強化したい。 ・花火大会ではアンケート調査の結果を分析・検討し、来場者の満足度を高める大会とすることで更なる観光誘客を図る。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・恩納村でのリゾートウエディング事業やアクティビティの拡充、またオリジナル商品等の開発によりリゾートステイ客の増加を図る。 ・グリーンフィンの導入を推進し、環境にやさしい「ダイビング」を普及、育成、発信することで、「ダイビング」スポットのモデル地区として確立を図る。 ・美ら海花火大会実施後のアンケート調査により会場のトイレ及び飲食店の出店数について増やして欲しいとの意見あり、また、シャトルバスの運行時間についても延長等の検討を行い来場者の満足度向上を目指す。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32,864</td> <td>31,646</td> <td>25,316</td> <td>6,330</td> <td>1,218</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	32,864	31,646	25,316	6,330	1,218	<p>恩納村 31,646千円 → 委託料 31,646千円 → 恩納村観光協会 31,646千円</p> <p>ほか、恩納村観光協会負担分(交付対象外経費)1,218千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光プロモーション事業(観光物産展、香港プロモーション) ・イベント事業(美ら海花火大会) ・観光誘客人の配置(1人) ・観光案内人の配置(2人) ・誘客コンテンツ開発事業(観光プロモーション動画(多言語))
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費							
32,864	31,646	25,316	6,330	1,218							

資金の流し、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、本村の観光を推進することに特化した唯一の事業者となっており、支出先の選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村
------	-----

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				駐留軍用地跡地の計画的な整備 III-8

事業内容 恩納通信所跡地において跡地の活用促進を図るべく、同跡地周辺区域について、跡地利用計画の推進に向けて基盤整備を実施する。

効果発現年度 当年度 後年度(令和2年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	68,372	256,332	—	235,970	159,500
		(b) 予算現額	62,340	178,605	—	205,902	162,390
		(c) 増減額(b-a)	▲ 6,032	▲ 77,727	—	▲ 30,068	2,890
		(d) 繰越額	—	—	29,125	—	—
	A. 計(b+d)		62,340	178,605	29,125	205,902	162,390
	B. 執行済額		61,927	149,480	27,047	205,902	162,390
	うち交付金充当額		49,541	119,584	21,637	164,721	129,912
	次年度繰越額		0	29,125	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.3%	83.7%	92.9%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明		置換え材搬入において運搬距離に変更が生じたため、交付対象外経費を含めた工事費を増額し執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
用地取得のための調査業務	目標	(調査業務の実施)	()	()	()
	実績	調査業務の完了			
住民説明会の開催(1回)	目標	(1回)	()	()	()
	実績	1回			
実施設計の実施	目標	(実施設計実施)	()	()	()
	実績	実施設計完了			
・用地取得及びこれに伴う損失の補償等	目標	()	(用地取得及び損失の補償等実施)	()	()
	実績		用地取得及び損失の補償等完了		
・排水路河口部の排水路整備工事の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)
	実績			実施	実施
達成状況説明	地元住民への説明会を開催し、地元の理解と協力得たうえで予定どおり工事に着手することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値	H29年度	H30年度	R1年度	目標値
			(H28年度)				(R2年度)
・用地取得及びこれに伴う損失の補償等の完了	目標	()	(用地取得及び損失の補償等実施)	()	()	()	()
	実績		用地取得及び損失の補償等完了				
・排水路中流部(348m)の完成	目標	()	()	(240m)	(340m)	(390)	
	実績			242m	348m		
【R2成果目標】 ・勢高排水路の氾濫:0件	目標	()	()	()	()	(0件)	
	実績						

進捗状況説明

工事施工中に、道路への越流及び浸水被害はなく、予定どおり期限内に完成することができた。

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

取組の検証

排水路改修工事は常時、干満の影響を受け施工範囲を5箇所に分けて大型土のうで締切り、ポンプにて施工範囲内の排水を行いながら施工を行うが、台風通過時及び豪雨時はポンプによる強制排水が間に合わないため作業を中断せざる得ず工期内完成が困難となる。

排水路改修工事を円滑に進めていくには、工事を早期に発注し、気象情報を常時把握して悪天候時は休日とし、晴天時には工事を進捗させていくなどの適正な工程管理が重要となる。

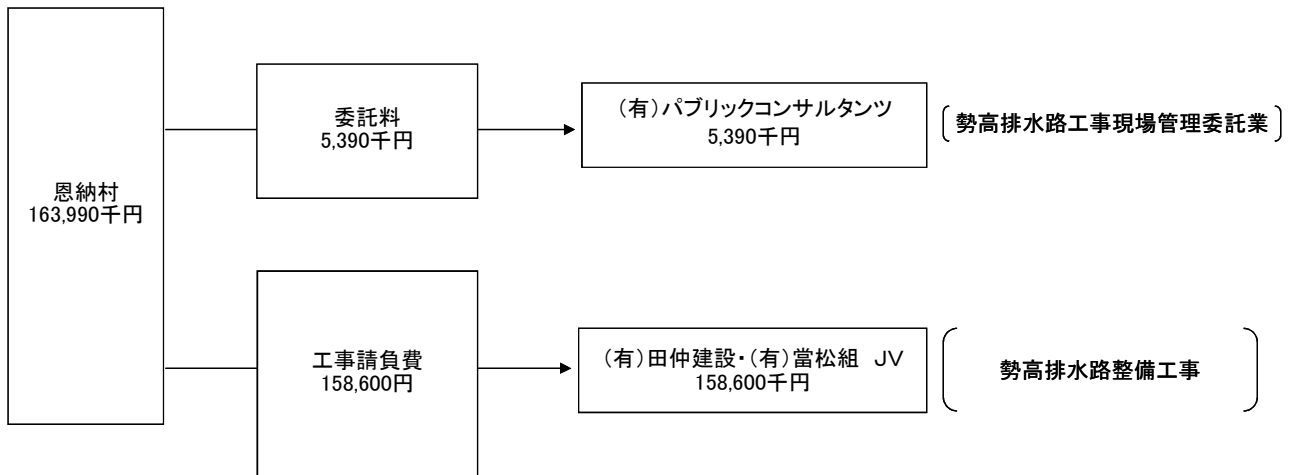
今後の取り組み方針

工事を進めながら、当初積算時の仮設工、大型土のう締切り及び水替工のポンプ数量や規格が適正であったかを検証し、現場にあった施工状況を判断して、工事最終年度の発注に反映させ、排水路整備完成に着実に取り組んで行く。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
163,990	162,390	129,912	32,478	1,600



資金の流 点検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務委託者及び工事請負者は指名競争入札を行い選定しており妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○置換え材搬入において運搬距離に変更が生じたため、工事費3,000千円を増額しそれ以外に交付対象外費として村単費1,490千円を増額した。今後詳細な調整による計画や積算により適正な予算計上に努める。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,648	54,355	46,210		
		(b) 予算現額	25,566	45,142	37,273		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 4,082	▲ 9,213	▲ 8,937		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	25,566	45,142	37,273		
	B. 執行済額		25,503	37,068	37,273		
	うち交付金充当額		20,402	29,654	29,818		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.8%	82.1%	100.0%		
予算の状況の説明		・8月分と3月分の報酬及び共済費について交付対象外経費としたことによる執行率の低下。 ・対象外経費を含めた総事業費は44,592千円で執行率は99.2%となるため執行状況は良好である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別支援員配置数 ・小学校 8人 ・中学校 4人	目標	(12人)	()	()	()	
		実績	12人				
特別支援員配置数 ・幼稚園 4人 ・小学校 12人 ・中学校 6人	目標	()	(幼稚園 4人 小学校 12人)	(幼稚園 4人 小学校 12人)	()		
	実績		幼稚園 3人 小学校 14人 中学校 6人	幼稚園 4人 小学校 13人 中学校 6人			
達成状況説明	・年度当初から全校配置できたことできめ細かな支援が行われ、学習面はもとより支援対象児の生活面での改善が図られた。 ・幼稚園も目標配置人数を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「学校は、特別な支援が必要な児童生徒に対し適切な対応ができていますか」で、評価3以上(4段階評価)が93%以上を目指す。	目標	(93%以上)	(93%以上)	()	()	()
		実績		91.5%			
	特別支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
実績				92.8%	97.0%		
進捗状況説明	前年度より高い評価を受けることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員が減員になるので、事業の質低下が懸念される。 ・支援員の定着率が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の資質向上により、減員分をカバーする。 ・支援員の処遇改善を図り、安定した支援体制を維持する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・支援員を指導主事による年4回の研修実施と、学校内での研修にも参加させ資質向上を図る。 ・会計年度任用職員への移行により処遇改善を図り安定した支援体制を維持する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
44,617	37,273	29,818	7,455	7,344
<pre> graph LR A[恩納村 37,273 千円] --> B[報酬 32,505千円] A --> C[共済費 4,768千円] B --> D["報酬(交通費含む) 支援員(23人) 32,505千円"] C --> E["社会保険料及び雇用保険料 支援員(23人) 4,768千円"] D --- F["幼稚園 4人 小学校 13人 中学校 6人"] E --- G["幼稚園 4人 小学校 13人 中学校 6人"] </pre>				

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「恩納村特別支援教育支援員配置要綱」「恩納村嘱託職員の任用等に関する規則」に基づいた支出であり妥当である。 ○予算規模は妥当である。 ○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	